



新茶

今年も風味豊かな

ができました

狭山茶新茶キャンペーン

- 日 6月10日(月) 10時~15時
- 場 市役所ロビー
- 内 新茶の試飲・販売、詰め放題(煎茶・ほうじ茶)手もみ茶の実演、一煎パックの無料配布など



今、お茶を味わう



鶴ヶ島の特産、狭山茶

狭山茶は、「色は静岡、香りは宇治よ、味は狭山でとどめさす」と狭山茶摘み歌で歌われているように、味の良いことで知られています。市内には、現在10軒の茶農家があり、それぞれ茶を栽培し、5月と7月に新芽の摘み取り、茶の製造を行っています。従来より化学肥料と農薬の使用回数を減らす取り組みを続けていて、現在は特別栽培農

産物の認定を受けるに至っていません。

「S-GAP」認定

埼玉県では、県内の農家に向け、農業の安心・安全の向上を目指した独自規範「S-GAP」を策定しています。今年1月、市内茶農家の須藤園がこの認定を受けました。

安全管理の徹底

須藤さんは、「食の安全」がより一層求められる今、消費者の皆さんに安心・安全なお茶を届けることができるよう、「S-GAP」を取得しました。様々な基準をクリアするため、日々の生産工程における管理ルールなどを整理。その中で「自らの課題に気づくことも多くありました。今後は、実践の中で、さらなる作業の効率化や徹底した安全管理につなげていきたい」と考えています。

もっと多くの人に

「S-GAP」の取得が、取引先や消費者からの信頼度のアップにつながればと思っっています。何より、これを機にもっと多くの人にお茶の美味しさを知ってもらい、気軽に楽しんでも



須藤園 須藤良春さん

らえれば、生産者としてこれ以上にうれしいことはありません。と笑顔で話してくれました。茶農家の皆さんが、丹精込めて作ったお茶をぜひ、お試しください。

※「GAP = Good Agricultural Practice」とは、農業に関する法律や規則などを守ることににより『食品安全・労働安全・環境保全』などに配慮した持続的な農業経営を行うことを意味します。

学校給食でおなじみの「鶴茶ん」にも、市内でとれた狭山茶がたっぷり入っています。

レシピはこちら

編集後記

市では5月1日の改元に伴い、鶴ヶ島のイメージキャラクターである、つるゴンをデザインした、鶴ヶ島オリジナル婚姻届を作成しました(表紙参照)。この婚姻届は市民課と若葉駅前出張所(ワカバウォーク内)で現在も配布しています。みなさん、ぜひご利用ください!

ご意見・ご感想は秘書広報課広報広聴担当へ
☎10200001@city.tsurugashima.lg.jp



“仲良し兄妹☆”
やまみちはるき 山道遥輝ちゃん(2歳5か月)
なつき 夏希ちゃん(1歳)



笑顔の天使



“つたい歩きが得意だよ☆”
うちのつうと 内野悠翔ちゃん(10か月)